



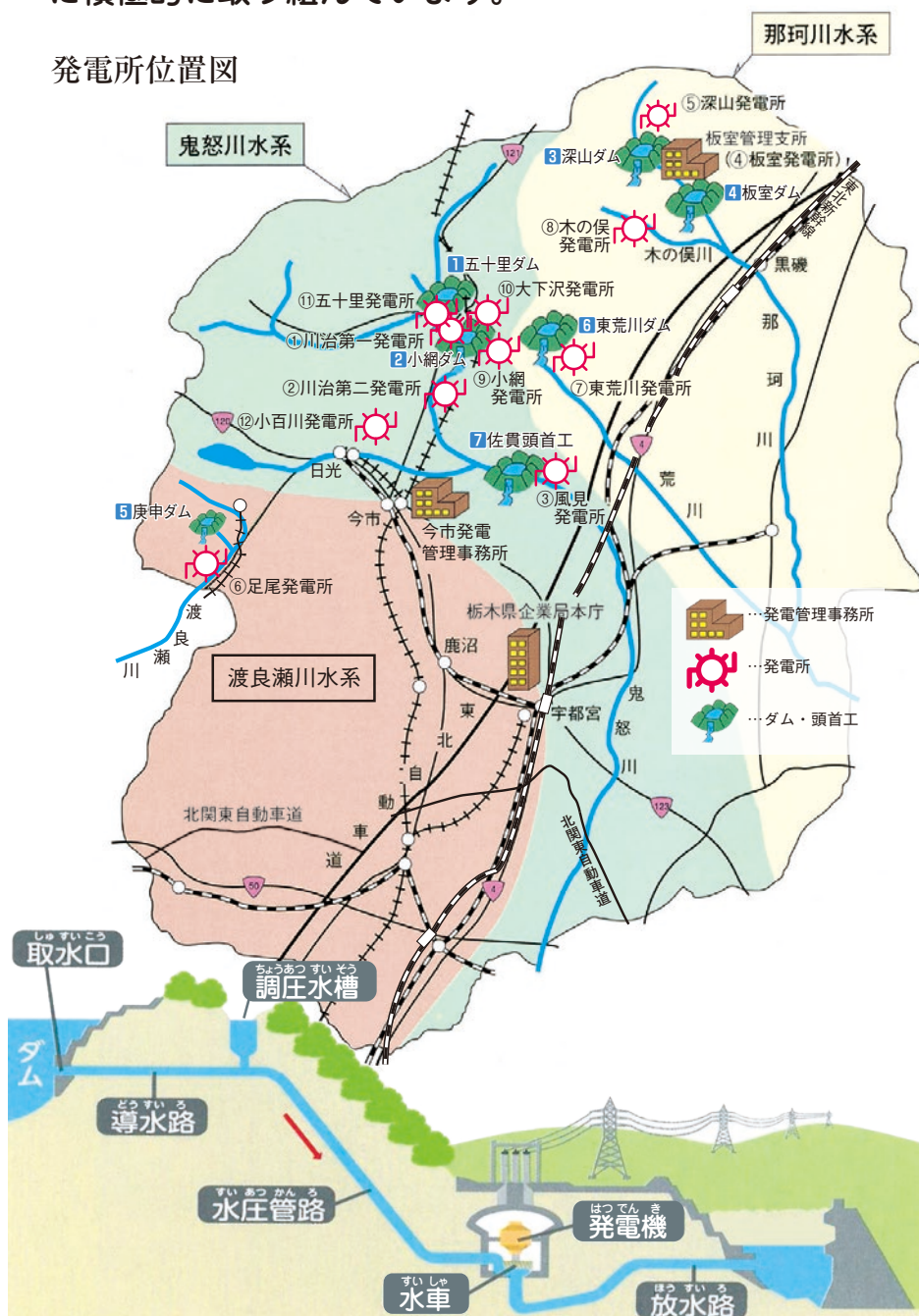
電気事業

純国産のクリーンエネルギー 水力発電

電気事業は、県営水力発電所で発電した電力を小売電気事業者等に供給し、地域エネルギーの安定供給（令和6（2024）年度供給量：196,472,716kWh約6万世帯分）と温室効果ガスの排出抑制（令和6（2024）年度CO₂排出抑制量：80,161トン）に貢献しています。併せて、ダム事業や灌漑事業への参画により、効率的な利水運用の役割も果たしています。

また、栃木県内の企業向けに県営水力発電所（再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT制度）適用発電所を除く）のCO₂フリー電気を供給する「とちぎふるさと電気」を東京電力エナジーパートナー㈱と創設し、電気の地産地消の推進と環境保全等の地域貢献に積極的に取り組んでいます。

発電所位置図



水力発電とは？

水が高いところから低いところへ落ちる力を利用し、発電機につながれた水車を回し発電します。



水力発電の特徴

- 水を利用して発電しているので燃料は不要
- 発電するときにCO₂を出さないのでもってクリーン
- 必要な電気の量に合わせて発電量を変更可能

発電所一覧

No.	発電所名称	発電方式	出力(kW)	使用水量(m ³ /S)	運転開始日
1	川治第一発電所	ダム水路式	15,300	16.60	昭和31(1956)年 5月25日
2	川治第二発電所	ダム水路式	2,600	12.52	昭和33(1958)年 6月27日
3	風見発電所	水路式	10,200	42.00	昭和39(1964)年 4月 4日 ※リニューアルして令和6(2024)年3月16日運転再開
4	いた板室発電所	ダム水路式	16,100	9.00	昭和48(1973)年 5月31日
5	深山発電所	水路式	2,300	2.00	昭和59(1984)年 4月18日 ※改修工事中。令和8(2026)年4月から運転再開予定(FIT移行)
6	あし足尾発電所	ダム水路式	10,000	12.50	昭和60(1985)年10月18日
7	ひがし東荒川発電所	ダム式	600	1.60	平成 2 (1990)年 4月 1日
8	木の俣発電所	水路式	3,600	2.20	平成 5 (1993)年 3月25日
9	小網発電所	ダム式	130	1.31	平成19(2007)年12月 1日
10	お大下沢発電所	水路式	39	0.23	平成30(2018)年 1月19日
11	い五十里発電所	ダム式	1,200	2.00	令和 2 (2020)年 5月22日
12	こ小百川発電所	水路式	190	0.26	令和 3 (2021)年 1月15日
合 計 出 力			62,259		※No.3、5、9～12はFIT制度適用発電所

発電所カード

電気事業のPRと地域資源を活用したクリーンなエネルギーである水力発電の啓発及びインフラ施設を活用した地域振興を目的に、「発電所カード」を作成し、発電所近くのダム管理所等で配布しています。



「とちぎふるさと電気」
を供給している発電所
は緑色、とちまるくんデ
ザイン

※No.1、2、4、6～8



「再生可能エネルギー固定価
格買取制度（FIT 制度）」を
適用している発電所は水色
のデザイン

※No.3、5、9～12

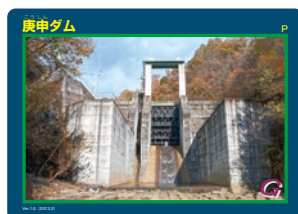
ダム一覧

No.	ダム名称	形式	高さ(m)	長さ(m)	集水面積(km ²)	総貯水量(千m ³)	管理者
1	いかり五十里ダム	重力式コンクリート	112.0	267.0	271.2	55,000	国土交通省
2	こ小網ダム	重力式コンクリート	23.5	128.0	606.05	627	企業局
3	み深山ダム	遮水壁型ロックフィル	75.5	333.8	52.9	25,800	農政部
4	いた板室ダム	重力式コンクリート	16.8	76.0	85.0	260	//
5	こう庚申ダム	重力式コンクリート	29.0	55.85	149.2	195	企業局
6	ひがし東荒川ダム	重力式コンクリート	70.0	276.0	21.0	6,100	県土整備部
7	さ佐貴頭首工	可動堰※	—	123.0(固定部)	—	—	企業局

※河川法上の分類は堰（高さ15m未満）

ダムカード

ダムをよりよく知っていただくため、小網ダム、庚申ダム及び佐貴頭首工の「ダムカード」を作成し、ダム管理所で配布しています。



今市発電管理事務所

効率的に施設を管理するため、県営発電所を一括して監視制御するとともに、日光市・塩谷町内の発電所の保守管理を行っています。



▲監視制御室



▲今市発電管理事務所

鬼怒川流域の施設



▲川治第一発電所と五十里ダム
昭和31(1956)年に運転を開始した最初の県営発電所です。
五十里ダムから取水して発電しています。



▲川治第二発電所と小網ダム
川治第一発電所で使用した水を小網ダムに貯めて発電しています。



▲風見発電所と佐貫頭首工
県営発電所の中で最も使用水量が多い発電所です。佐貫頭首工から取水し、農業用水路の落差を利用し、発電しています。
全面改修事業を経て、令和6(2024)年3月に運転を再開しました。

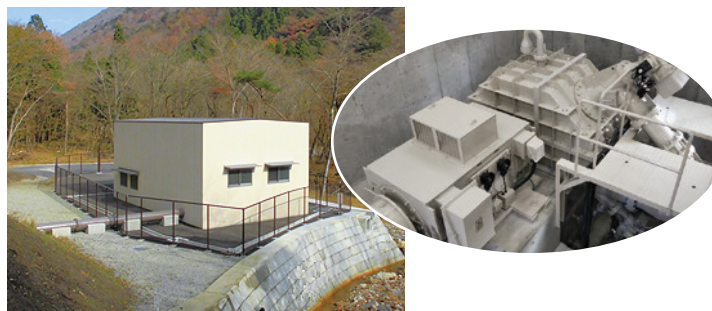


風見発電所バーチャル見学

▲大下沢発電所
平成30(2018)年1月に運転を開始した、出力が一番小さな発電所です。



▲五十里発電所と水車・発電機
五十里ダムからの河川維持流量を利用し、令和2(2020)年5月に運転を開始した発電所です。



▲小百川発電所と水車・発電機
小百川発電所は、令和3(2021)年1月に運転を開始した発電所です。既設の砂防堰堤(副堰堤)から取水し、約2km下流の発電所との落差を利用して発電しています。

渡良瀬川流域の施設



▲足尾発電所



▲庚申ダム

◀足尾発電所と庚申ダム

渡良瀬川上流に位置する日光市足尾町は、日本有数の銅山の街として栄えてきましたが、昭和48(1973)年に閉山したため、旧足尾町振興策の一環として、足尾発電所を建設しました。

足尾発電所は、渡良瀬川、神子内川、庚申川などから取水し、発電しています。

那珂川流域の施設



▲板室発電所（板室管理支所）

県営発電所の中で、出力が一番大きな発電所です。東荒川発電所を除く那珂川流域の発電所の保守管理は、ここで行っています。



▲深山発電所と水車・発電機
那珂川流域の最上流にある発電所です。なお、令和6(2024)年3月から発電所を停止して大規模改修事業を行っており、令和8(2026)年4月から運転再開予定です。



▲東荒川発電所と水車・発電機
東荒川ダムからの河川維持流量を利用し、発電しています。



◀深山ダム

板室発電所で使用する水は深山ダムから取水しています。

▶板室ダム

板室発電所で使用した水は、このダムに一時貯められ、北那須水道用水、農業用水の取水口として機能しています。



▲木の俣発電所と水車・発電機

木の俣川、ヒツ沢川及び西俣沢川から取水し、発電しています。



◀東荒川ダム

洪水調節、農業、水道、発電用の多目的ダムです。



水道事業・工業用水道事業

県営水道は、水源の広域的な有効利用や財政投資の効率性を考慮し、合理的な運営及び水の安定供給のため計画された公益性の高い事業です。

県が市町村等に対して「水の卸し」を行うことから水道用水供給事業と呼ばれています。

また、鬼怒川左岸台地地区の清原、芳賀等の工業団地に立地する企業を対象に工業用水を安定供給し、地域産業の発展を支えています。

北那須水道用水供給事業

北那須水道用水供給事業は、県北地域における地域振興の促進と生活基盤の確立のため、大田原市、那須塩原市の2市へ、合わせて計画一日最大給水量48,000m³の水道用水を供給しています。



■深山ダム

農業用水、発電用水及び水道用水に使われる水を溜めておくところです。



■板室ダム

深山ダムから流れてきた水はここで取り入れられ、上段幹線導水路へと導かれます。



■取水口

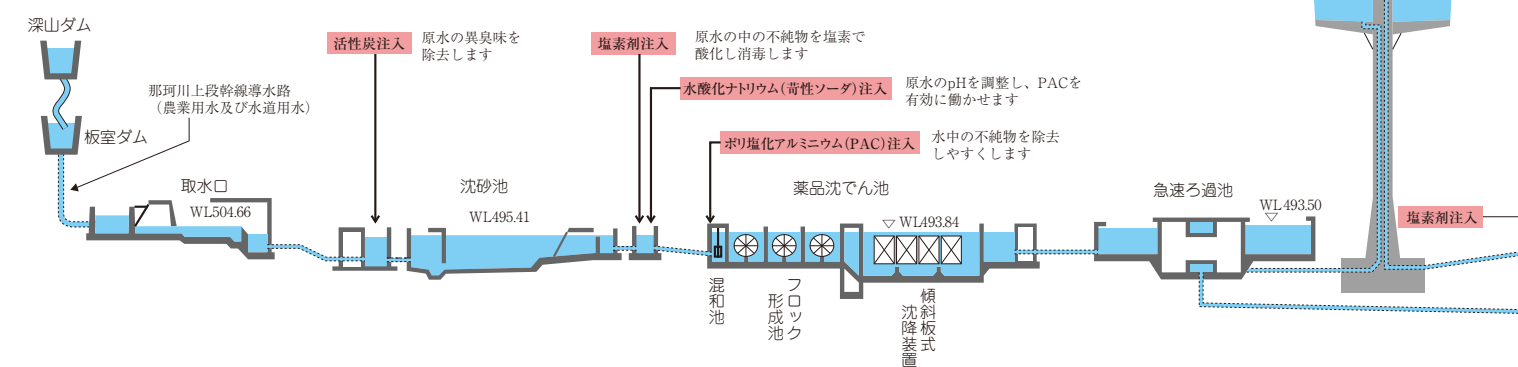
板室ダムから上段幹線導水路を流れてきた水はここで農業用水と水道用水に分けられ、水道用水は沈砂池に導かれます。



■沈砂池

取水口から取り入れられた水の中には砂や泥が混じっているため、ここで砂や泥を沈めます。

水道用水ができるまで



■高架水槽・塩素混和池

高架水槽は、急速ろ過池のろ過砂の洗浄に使われる水を、蓄えておく水槽です。

塩素混和池では、きれいになった水に塩素を加えて消毒し、安全な飲み水にします。



■浄水池・調整池

飲み水を一時、地下の水槽に蓄え、水量を調整します。

また、地球温暖化対策の一環として、浄水池・調整池上に太陽光発電設備を設置しています。



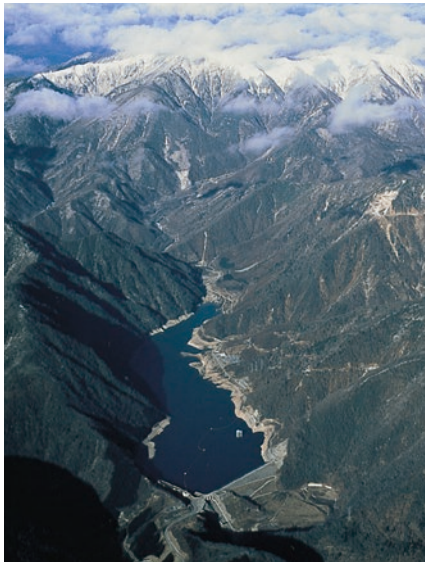
■排水処理池

薬品沈でん池や急速ろ過池で取り除いた泥水をここで貯留・濃縮します。



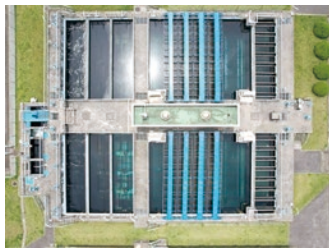
■天日乾燥床

排水処理池で濃縮された泥はここに送られ、天日乾燥により水分を蒸発させます。その後、セメント等の原料として利用しています。



深山ダム(水源)

北那須水道用水供給事業の概要図



薬品沈でん池

水に混じっている泥などを取り除くために、薬品を入れてゆっくりかき混ぜ、大きな固まりにして、ここで沈めます。



急速ろ過池

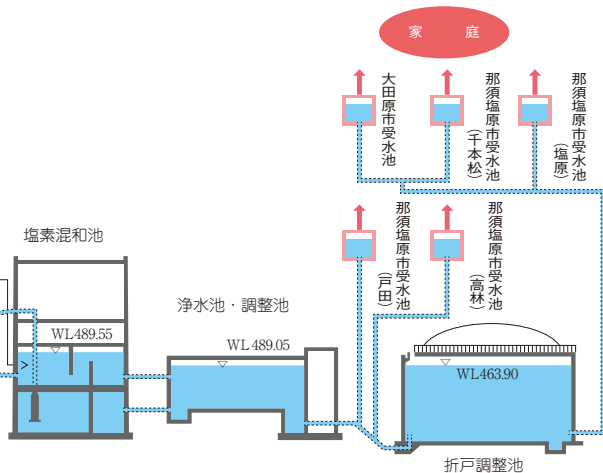
砂の層を通して水をきれいにします。

◆北那須浄水場カード

水道用水供給事業について広く知ってもらうことを目的に浄水場カードを作成し、企業局や受水市窓口で配布しています。



※デザインは令和6(2024)年度作成のものです



折戸調整池

大田原市、那須塩原市へ送る水を一時蓄え、水量を調整します。



マイクロ水力発電機

調整池への流入水を利用し、マイクロ水力発電機による発電を行っています。

北那須水道用水供給事業	
給水対象区域	大田原市・那須塩原市(旧黒磯市・旧西那須野町・旧塩原町)
取水量及び給水量	計画一日最大取水量 51,840 ^m 計画一日最大給水量 48,000 ^m
給水能力	48,000 ^m ／日
給水開始年次	昭和53(1978)年 4月 大田原市
	昭和54(1979)年10月 那須塩原市(塩原地区)
	昭和55(1980)年 4月 那須塩原市(黒磯地区戸田系) 那須塩原市(西那須野地区)
	昭和56(1981)年 8月 那須塩原市(黒磯地区高林系)
総事業費	90億円
県水受水率	大田原市・那須塩原市の使用量の47%を供給(令和6(2024)年度) (大田原市63%、那須塩原市40%)

鬼怒水道用水供給事業・鬼怒工業用水道事業

鬼怒水道用水供給事業は、「県央地域広域的水道整備計画」に基づき、県央の宇都宮市、真岡市、高根沢町、芳賀中部上水道企業団の2市1町1企業団を対象に、合わせて計画一日最大給水量38,000m³の水道用水を供給しています。

また、鬼怒工業用水道事業は、宇都宮テクノポリス開発計画で進めた清原、芳賀、芳賀・高根沢工業団地等を対象に、計画一日最大給水量147,100m³の工業用水を供給するもので、平成7（1995）年4月には計画施設能力73,550m³/日が完成し、各工業団地の企業に供給しています。



岡本頭首工

川治ダムから流れてきた水は、川を堰止めて取り入れられます。この水は、飲み水だけでなく工場や農家でも使われます。



ぶんすいせい 分水井

取水ポンプで送られてきた水はここで水道用水と工業用水に分けられます。



薬品沈でん池

水に混じっている泥などを取り除くために、薬品を入れてゆっくりかき混ぜ、大きな固まりにして、ここで沈めます。



急速ろ過池

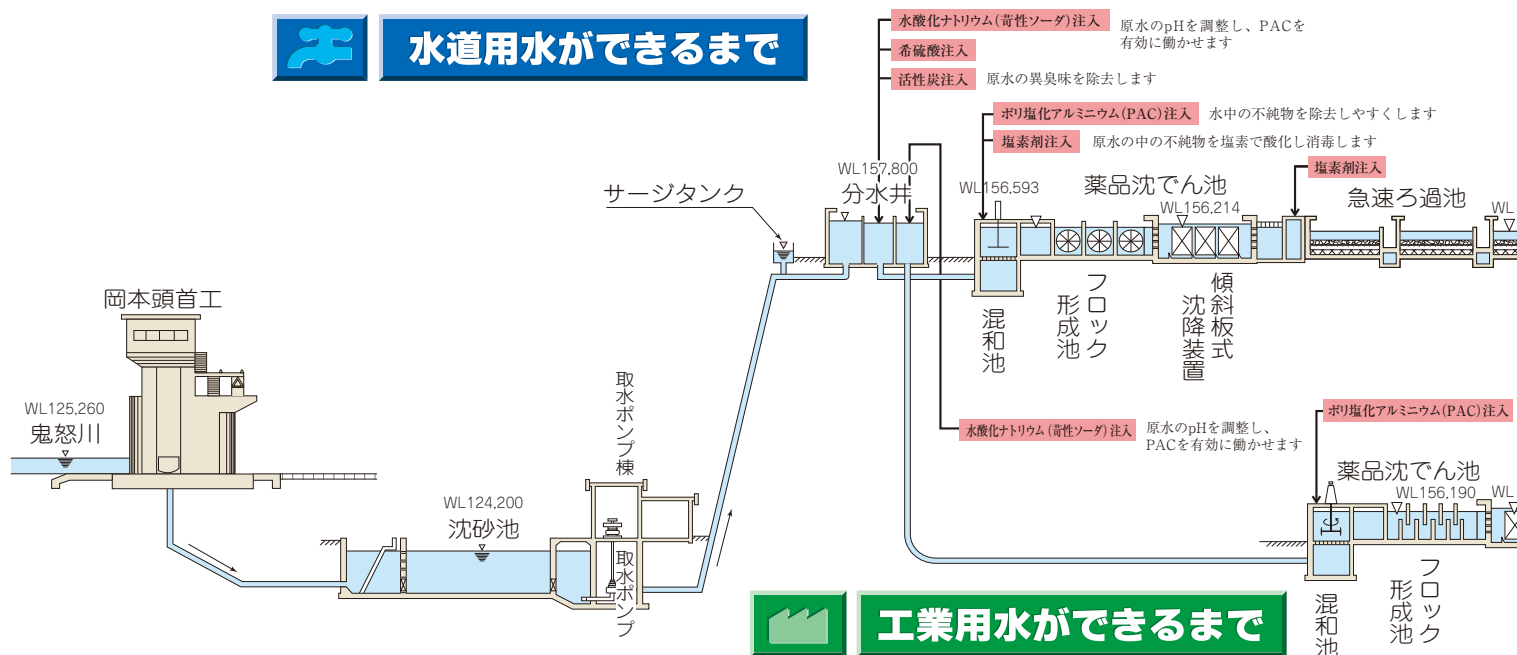
砂の層を通して水をきれいにします。



浄水池・調整池

ろ過後、きれいになった水は塩素消毒され、ここで一時蓄え、水量を調整します。

水道用水ができるまで



工業用水ができるまで



沈砂池・

取水ポンプ棟

岡本頭首工から取り入れられた水の中には泥や砂が混じっているため、ここで泥や砂を沈めます。



取水ポンプ

ポンプの力で水を浄水場に送ります。



薬品沈でん池

工業用水に適した水にするため、水に混じっている泥などを薬品を使って沈めます。



配水池

きれいになった水は、工場の使用量の変化に対応出来るよう、ここで一時蓄えます。



排水処理池

薬品沈でん池や急速ろ過池で取り除いた泥水をここで貯留・濃縮します。

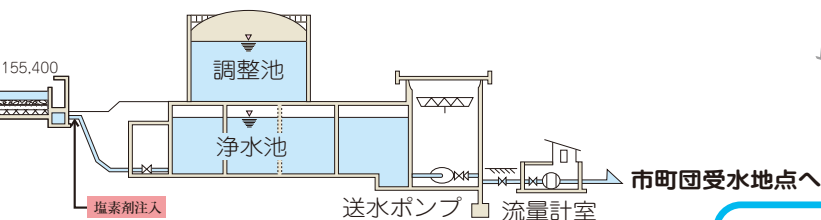


川治ダム(水源)

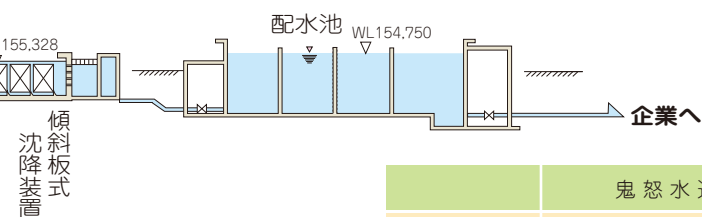


薬品注入棟

使用する薬品は、ポリ塩化アルミニウム、苛性ソーダ、次亜塩素酸ナトリウムです。



水中の不純物を除去しやすくします



天日乾燥床

排水処理池で濃縮された泥はここに送られ、天日乾燥により水分を蒸発させます。その後セメント等の原料として利用しています。

鬼怒水道用水供給事業・鬼怒工業用水道事業の概要図



◆鬼怒浄水場カード

水道用水供給事業及び工業用水道事業について広く知ってもらうことを目的に浄水場カードを作成し、企業局や関係機関窓口で配布しています。



※デザインは令和6(2024)年度作成のものです

	鬼怒水道用水供給事業	鬼怒工業用水道事業
給水対象区域	宇都宮市・真岡市・高根沢町・芳賀中部上水道企業団(益子町・芳賀町)	宇都宮市(清原工業団地、その他) 芳賀町(芳賀工業団地、芳賀・高根沢工業団地の一部、その他) 高根沢町(芳賀・高根沢工業団地の一部、その他) 宇都宮市(宇都宮工業団地) 真岡市(真岡第1工業団地、その他) 上三川町(自動車工場) ※灰色は計画
取水量及び給水量	計画一日最大取水量 40,600m ³ 計画一日最大給水量 38,000m ³	計画一日最大取水量 158,100m ³ 計画一日最大給水量 147,100m ³
給水能力	38,000m ³ /日	73,550m ³ /日
給水開始年次	昭和62(1987)年10月 宇都宮市 平成元(1989)年4月 益子町・芳賀町 平成2(1990)年4月 真岡市 平成9(1997)年4月 高根沢町	昭和57(1982)年10月 清原工業団地等 平成元(1989)年5月 芳賀工業団地 平成2(1990)年4月 芳賀・高根沢工業団地
事業費	135億円	340億円
県水受水率	宇都宮市等使用量の15%を供給(令和6(2024)年度) (宇都宮市13%、真岡市24% (芳賀中部上水道企業団18%、高根沢町13%))	



用地造成事業

県内各地域の特性を生かし、県土の均衡と調和のとれた発展を図るため、市町の協力のもとに産業団地等の整備を推進し、成長力に富んだ企業の誘致を進めています。

企業が立地することにより、新たな雇用が生まれるなど、地域の活性化が図られます。

番号	団 地 等 名	所 在 地		種 類		状 況				面 積 (ha)				分譲期間		立 地 企業数 (件)
		市町	町名等	産業 団地	その 他	分譲済		分 譲 中	整 備 中	総 面 積 (造成面積)	工場用地面積		分譲 開始	分譲 終了		
						その 他					分譲済	未分譲				
1	宇都宮ゆいの杜	宇都宮市	ゆいの杜		産業 用地	○				1.1	1.1	1.1	0.0	R2.10	R4.12	1
2	八坂第二	足利市	羽刈町	○		○				23.3	16.5	16.5	0.0	H2.8	H4.2	7
3	毛野東部	足利市	川崎町、ほか	○		○				14.4	11.5	11.5	0.0	H4.3	H4.3	11
4	西久保田	足利市	久保田町	○		○				13.0	10.4	10.4	0.0	H16.2	H19.3	4
5	あがた駅南	足利市	県町	○		○				18.4	12.4	12.4	0.0	H28.12	H31.4	7
6	あしかが久保田	足利市	久保田町	○					○	22.3	16.8	0.0	16.8	R9 (予定)		0
7	惣社東	栃木市・ 壬生町	栃木市惣社町 壬生町壬生乙	○		○				21.8	14.3	14.3	0.0	H11.4	H25.9	13
8	羽田	佐野市	下羽田町	○		○				26.1	20.0	20.0	0.0	H6.7	H12.3	10
9	下石川	鹿沼市	下石川		流通 団地	○				12.4	5.1	5.1	0.0	H9.11	H13.4	5
10	鹿沼インター	鹿沼市	深津	○		○				23.9	17.8	17.8	0.0	R4.10	R7.12	4
11	小山東部	小山市	梁	○		○				25.9	16.5	16.5	0.0	H7.6	H19.3	12
12	真岡第5	真岡市	亀山・長田	造成 のみ		○				41.2	39.8	-	-	-	-	-
13	大和田	真岡市	大和田	○		○				32.9	21.1	21.1	0.0	H15.6	R4.12	9
14	矢板南	矢板市	こぶし台	○			定期借 地含む			77.2	47.8	43.4	4.4	H6.7		19
15	東那須	那須塩原市	塩野崎、ほか	○		○				48.3	37.9	37.9	0.0	H7.6	H20.7	2
16	赤羽西部	市貝町	赤羽	○		○				8.7	6.5	6.5	0.0	H1.8	H1.8	1
17	芳賀・高根沢	芳賀町・ 高根沢町	芳賀町下高根沢 高根沢町上高根沢	○		○				226.4	212.2	212.2	0.0	S52.3	S55.3	3
18	芳賀第2	芳賀町	下高根沢	○		○				22.7	17.7	17.7	0.0	R3.1	R5.2	5
19	みぶ羽生田	壬生町	羽生田、ほか	○		○				86.5	71.0	71.0	0.0	H24.12	H29.11	3
20	みぶ中泉	壬生町	中泉	○				○	○	19.5	15.4	0.0	15.4	R8.2		0
21	砂部	高根沢町	平田	○		○				25.8	21.5	21.5	0.0	H1.4	H2.3	12
計	産業団地	19 箇所		○						778.3	627.1	550.7	36.6			122
	その他	2 箇所			○					13.5	6.2	6.2	0.0			6
	21 箇所			○	○					791.8	633.3	556.9	36.6			128

※ 四捨五入の関係で、計は合わない部分があります。

整備中の産業団地

みぶ中泉産業団地

整備中

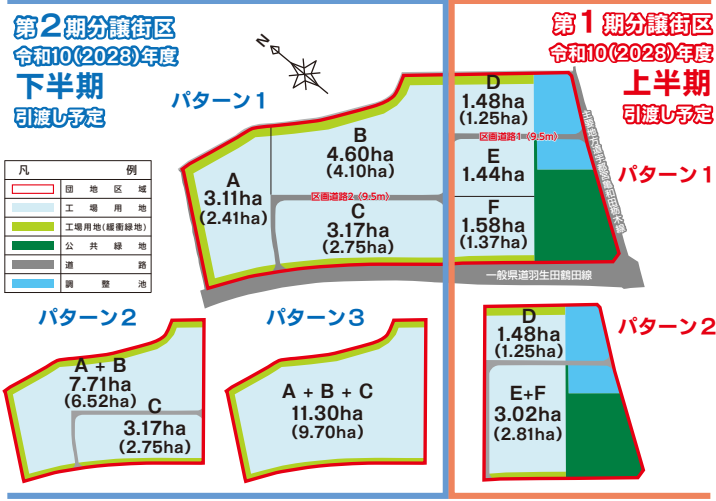
北関東自動車道壬生ICから約5分の好立地
浸水災害に強い地形、安定した地盤



位置図



区画パターン



概要

所在地	壬生町中泉
団地面積	約 19.5ha
分譲面積	約 15.4ha
用途地域	工業専用地域
建築基準	建ぺい率：60%、容積率：200%
用水	壬生町上水道供給（予定）
排水	各企業が個別処理後、排水管へ放流
通信	光回線サービス提供エリア内

アクセス



東北自動車道、北関東自動車道へ好アクセス





施設管理事業

県民福祉の増進と地域振興を
目的とした施設の整備・管理
運営を実施しています。

とちまるゴルフクラブ（栃木県民ゴルフ場）

栃木県民ゴルフ場は、県民の多様化するスポーツ・レクリエーション需要に応えるため、さくら市及び高根沢町の鬼怒川河川敷に整備した、河川空間のなだらかな地形を生かした美しいレイアウトの本格的なパブリックコースです。

平成4（1992）年10月の営業開始以来、気軽に利用できるゴルフ場として、シンプル＆リーズナブルをコンセプトに、ジュニアからシニアまで幅広い客層の方々へ楽しむ機会を提供しています。



コースレイアウト

18ホール 6,609ヤード パー72
敷地面積71.5ha

とちまるゴルフクラブ
公式サイト



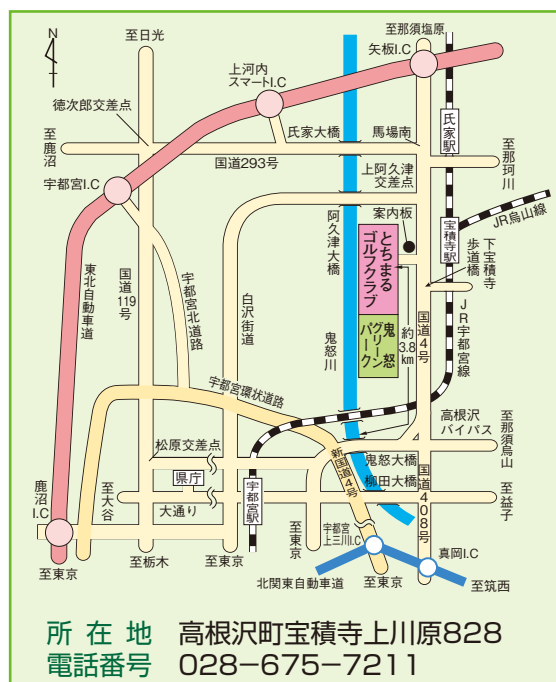
地域貢献活動の一環として、関係
団体と連携しながら、ジュニアゴル
フ教室などを実施しています。



▲コースへ乗り入れができるナビ付きカートで
快適プレイ！（天候等による制限あり）



▲ジュニアゴルフ教室



所在地 高根沢町宝積寺上川原828
電話番号 028-675-7211

栃木県本町合同ビル



▲地球温暖化対策の一環として設置した太陽光発電設備
(太陽光発電設備：n型単結晶電池 出力34.71kW)



▲1階は栃木県観光物産協会が区分所有しており、
とちぎの特産品の販売や観光情報を発信しています。

栃木県本町合同ビルは、土地の高度利用による宇都宮市の中心市街地の活性化などを目的として平成12(2000)年度に着工し、平成14(2002)年3月に竣工した賃貸(一部区分所有)ビルです。

また、ビルにあわせ、駐車場を2か所(本町合同ビル駐車場、栃の実駐車場)整備し、中心市街地の利便性向上に貢献しています。

建築概要

建物名称	栃木県本町合同ビル
建築主	栃木県企業局
所在地	宇都宮市本町3番9号
敷地面積	1,703.76㎡
延床面積	8,571.45㎡ (うち賃貸面積 2,761.32㎡)
建築面積	988.55㎡
構造	地下：鉄骨鉄筋コンクリート造 地上：鉄骨造
階数	地下1階地上9階
駐車場	構内13台 近接68台

入居団体

9F	栃木県国民健康保険団体連合会 (区分所有)
8F	
7F	
6F	
5F	栃木県教育委員会 事務局 (賃貸)
4F	
3F	
2F	
2F	栃木県後期高齢者医療広域連合 (賃貸)
1F	公益社団法人栃木県観光物産協会 (区分所有)

所在地案内

栃木県庁と栃木県総合文化センターのすぐ南側で、トチノキ並木のシンボルロードと釜川の交差点に位置します。
JR宇都宮駅からバスで約10分、東武宇都宮駅から徒歩10分です。

